



2011~2012

会 報

R I 2720地区

The Hitoyoshi Rotary

人 吉

通 算 2697回
2012年3月16日
第34回例会
毎週金曜日

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

会報編集 塚本哲也委員長

Reach within to
Embrace Humanity

2011-2012年度 R I 会長
カルヤン・パネルジー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171

◀ 例会場

事務局 ▶

清流山水花 あゆの里内 ☎④6665 ☎④6505

[URL] <http://www.12.ocn.ne.jp/~hrc/>[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

3月 識字率向上月間

点 鐘	宮原和広会長
歌 唱	ソングリーダー 村山SAA委員 国 歌 「君が代」 R S 「奉仕の理想」
司会・進行	平田プログラム副委員長

会長の時間

宮原和広会長



先週3月9日(金)は地区大会前日で会長・幹事・ガバナー補佐会議及び地区指導者育成セミナーが開催されました。丁度例会日にあたり私と幹事はセミナーへ出席し、例会を欠席致しました。山賀副会長、浅野副幹事の元で例会を進めて戴き大変お世話になりました。

会長・幹事・ガバナー補佐会議は15時開会で、本田ガバナー挨拶、横山R I会長代理の挨拶、地区の報告と進みました。休憩のあと、地区指導者育成セミナーが開かれ、R I 2680地区パストガバナー三木明氏より「ロータリーと戦略計画」の演題で講演がありました。関西弁交えてのユーモラスなお話でした。

17時30分に閉会し、18時よりR I会長代理歓迎晩餐会が開催され、会場は400人近い人で盛大に執り行われました。本来ならば1時間程で退席し、人吉ナイトへ合流するのですが、今回の大会は金・土曜日ということでしたので、晩餐会は最後まで参加をしました。

翌日の地区大会は、浅野副幹事の引率でバスが到着し、会員さんと合流して大会へ参加しました。登録参加戴きました43名の会員・ご夫人に感謝申し上げます。

地区大会の内容は、漆野会員と湊田会員より

詳しく報告がありますので省略致します。各種表彰では、ロータリー財団『あなたも毎年100ドルを』クラブで8クラブが受賞され、その代表として私が登壇し、表彰を受けました。この賞はロータリー財団の和田委員長の2年における功績の結果だと思います。感謝申し上げます。

去年大分での地区大会前日、3月11日の「東日本大震災」。今でも脳裏に焼き付いています。そして大会での桑原R I会長代理の姿を思い出されます。仙台空港に駐車された自分の車が津波によって流されている、そして家屋など全てが呑み込まれる報道を見られた心境は計り知れないものであったと察し致します。

しかし、翌日の大会に於いてR I会長代理の責務をまっとうされた姿に敬意と感謝を申し上げます。

1年前の3月11日、午後2時46分未曾有の大災害を引き起こした東日本大震災、一年経った今でも復旧は進んでいない。被災地では未だに悲しみが尽きることがない。

本田節会員は12日の人吉新聞に、「東日本大震災発生から1年「思いを風化させないために」」の記事を読んで、素晴らしい奉仕の姿に感心させられました。私が報道で見た大震災の感覚と、本田会員が実際に視た感覚の違いは雲泥の差があると思います。私も今後、協力できる範囲で実行していきたいと思っています。

私の年度は東日本大震災復興支援で始まり、水野社会奉仕委員長の協力を得て、東日本大震災復興支援人吉球磨観光カレンダー事業に取り組み、益金を全て義援金として被災地へ送ることにしました。先週、水野委員長より収支報告がありましたが、現在、被災地のロータリークラブを模索中です。皆様のご協力に感謝申し上げます。

今週、3月17日、18日が会長エレクト研修セミナー(PETS)、4月に地区協議会と、次年度行事が次々と開催され、次年度が動き出しました。山賀エレクトのご活躍に期待致します。

幹事報告

馴田信治幹事

【連絡事項】

- ①2720地区本田光曠ガバナーより3月9日～10日に開催されました地区大会出席お礼状が届いております。
- ②人吉商工会議所岩下博明会頭より平成24年度民謡民舞九州地区大会開催に伴う入場券（1000円）の販売およびポスター掲示のお願いが届いております。

開催日；4月14日（土）15日（日）

- ③人吉市国際交流協会赤山武興会長より第3回役員会の開催案内。3月29日（木）午後7時～市役所本庁3F 青少年派遣事業について

【例会変更・取止め】

八代南RC3/28→18:30～基隆(キルン)東RC歓迎例会
八代グランドホテル

宇土RC 3/28→花見例会のため 城山公園

指宿RC 3/20→休会

〃 3/27→職場訪問のため指宿海上保安署

※指宿RCは下半期から夜の例会が2回になりました。

【配布物】人吉RC3/9会報、ロータリー財団ハンドブック

【回覧】

指宿RC・玉名中央RC・八代南RC・玉名RC週報
ハイライトよねやま144号

出席率報告

岩井和彦委員長

本日の出席率			
会員数	68名	73.85%	
出席免除	6名	3/2例会出席率	80.00%
欠席者数	14名	補 填 数	11名
出席者数	48名	修正出席率	98.44%

*届け出欠席

牛島・青木・本田・立山・大久保・中村・水野・尾上
外山・山口・木村・有村・浅野・瀧田

*出席免除会員

(a) 石蔵、齊藤、小林清 (b) 増田、愛甲、山本

メイクアップ

台北稻江RC；有村・岩井・小林祐・村山・大久保
和田・北・中島・渡辺

人吉中央RC；赤池

地区研修リーダー委員会；中川

会務報告

【親睦委員会】

戸高克彦委員長

3月のゴルフ愛好会案内

日時：3月24日（日）

9時14分スタート

場所：クラウンゴルフ

多くの参加をお待ちしています。

【雑誌委員会】

ロータリーの友3月号の紹介

鳥井正徳委員長



ロータリーの友3月号の見所紹介は、P40～43の“同論・異論”の「ロータリーに広報は必要か、否か？」について、焦点をしばって紹介します。

まず、広報活動が必要だとする意見から紹介します。

・庄原RC 渡辺恭信会員一

日本では古くから「陰徳」という価値観が大切にされ、他人や世間のために行う善は、公にしたり自慢したりすることは慎まなければならないという考え方があった。しかし、この生き方は、それなりに意味はあるけれども、現代というグローバル化した時代には通用しないのではないかと。ロータリーといえども例外ではないと思うようになった。クラブが何を行っているか、世間は関心を示していない。広報はクラブの生き残りをかけた闘いである。

・弘前西RC 田辺孝美会員一

メディアが発達している中で、メディアというバスに乗り遅れてはいけないと思う。「ロータリーは？」と尋ねると理解がないか誤解している人が多い。素晴らしいことを間違った誤解をされないためにタイムリーな広報活動が必要である。それが会員の安心感と会員増強になると信じる。

・前橋東RC 馬場誠会員一

広報は必要だ。それはロータリー財団による多岐にわたる活動、ポリオ撲滅運動支援、米山記念奨学金による外国人留学生支援、東日本大震災支援活動等、について知れば知るほど、ロータリーへの見方、考え方が深まってくるし、そしてロータリーの活動の広報は多くの人を勇気づけると思う。

・旭川東RC 中村良一会員一

入会して30年以上になるが、当時の奉仕活動や現在の会員減少を思うと、寂しくなるし、残念に思う。創立90周年には、「地域社会意識向上プロジェクト」を立ち上げて、好評を得た思い出がある。全国規模で、広報週間を設け、地域、分区単位で全国一斉に広報活動をすることで、市民の関心と理解は深まる。広報は絶対に必要と思う。

・東京中央RC 堀内昭八会員一

ロータリーの活動推進の起爆剤は、会員増強。その会員増強の特効薬は、恒常的、広範な広報に勝るものなし。だから、広報は絶対に必要である。ロータリーがあまりにも知られていない。

次からは広報活動が必要でないという意見です。

・高崎東RC 豊泉清会員一

ロータリーは、善意の社会奉仕活動をしたいという人の集団であり、世の中のため、人のためになる奉仕活動を実践して、精神的充実感を味わえ

ば、所期の目的を達せられたと言える。ロータリーはロータリー精神を身につけるための自己研さんの場であるべきである。研さんを積み重ね、友人を勧誘したいという気持ちが起るはずである。現会員の教育による質の向上こそ最優先すべき広報活動だ。

・東京調布むらさきRC 黒滝直昭会員一

ただ漠然とロータリーを広報したとしても何が得られるのか？クラブとして奉仕活動に真剣に取り組んでいけば自然と周りは分かるもの。楽しいことや甲斐のあることに取り組んでいけば人には周りの人とは違って見えると思う。

・伊予RC 藤井健夫会員一

プライドを持ってバッジを着けよう。これこそ真の広報である。いわゆるマスコミに対する積極的な広報は不要である。

・熊谷東RC 野中弘之会員一

ロータリークラブの広報とは、その地域に密着した活動を根気強く継続する結果として評価されるべきものである。本当にロータリーを知らしめようとするなら、R Iや地区といった組織として行うべきで、クラブの役割ではなからう。

このロータリーの広報の在り方については今後この会でも議題になるのではないかと思います。

最後になりますが、P44に札幌東RCの東巧喜会員より、ロータリーの友誌はロータリーの組織内広報である。この友誌を大切にしたい、とあります。

以上で紹介を終わります。

その後、釜田会員の駐車場で何名かの会員方々をのせ、一路、崇城大学市民ホールに向かい出発、8時半の登録開始だったと思いますが、丁度8時半頃の到着となりました。

私は、友愛の広場を知らず、塚本会員と近くの喫茶店に入りモーニングを食べ会場に帰ってきました。そこで友愛の広場の存在に気づき、弁当とだご汁をいただき9時30分の点鐘へと向かいました。

本田光曠ガバナーの点鐘の後、日本と韓国それぞれの国歌を斉唱。ロータリーソングは「奉仕の理想」でした。1階席、2階席大勢のロータリアンで歌うロータリーソングは大変迫力が有りました。

その後、参加クラブの紹介もあり、中島ガバナー補佐も6分区の各クラブの特徴をうまくお話しながら紹介されました。（例会では、話忘れましたがロータリー歴と職業分類を言われたのは、中島ガバナー補佐だけでした。）

その後、来賓紹介等（本田ガバナーがおっしゃってましたが、初めてライオンズクラブからも来賓においで頂いたそうです。）会が進み、丁度、1年前に起きた東日本大震災への義捐金の贈呈式も行われました。続いて、姉妹地区ガバナーの挨拶があり、韓国から2つの地区のガバナーからご挨拶をいただきました。1人のガバナーは、全て日本語で挨拶をされたと記憶しています。

引き続き会が進み、R I会長代理（大阪中央RC 横山守雄氏）が挨拶、アドレス、R I現況報告をされましたが、現況報告はスライドを使っての話でしたのでとてもわかりやすかったです。印象に残っているのは、アメリカ、インド、日本の人口ピラミッドを示された時でした。アメリカはホームベース型、インドは綺麗なピラミッド型、そして日本は砂時計みたいなピラミッド型でした。横山氏は、今、日本のロータリークラブが、「老タリークラブ化」していることを危惧され、若年層へのロータリークラブの広報、今からのロータリークラブのあり方を示されました。ロータリークラブは「リッチメンズクラブ」なのか？とも話をされ、他地区での若い世代に入会してもらうための取り組み、育成方法の工夫なども例を上げて、戦略計画として報告されました。

R I会長代理の報告に続き、ガバナーエレクト、ガバナーノミニの紹介があり、岡村エレクト、そしてガバナーノミニとしてお隣、人吉中央ロータリークラブの赤山ノミニが紹介されました。岡村エレクトは、とても若若しく、バイタリティーに満ち溢れた方でした。一方、赤山ノミニは、72歳と話をされ次次年度のガバナーでは、かなり年配だろうと研修会にいくと、なんと下から2番目の若さだったと、まだまだバリバリいきますよと、エネルギー



国際ロータリー第2720地区 地区大会報告

漆野智康会員



澗田会員が、報告される予定でしたが急遽お休みということで、代わってご報告します。後半の部は、ちゃんと原稿を作っていますが、前半の部は、今言われましたので支離滅裂な報告になりと思います。

当日は6時50分に高山会員の五木園に集合し、7時に出発の予定でした。しかし皆さん早起きが得意とあり7時前の出発となりました。

いっばいの挨拶をされました。

地区大会後半の部の報告をさせていただきます。ここからは原稿がありますのでスムーズに行くかと思えます。

前半部、セレモニーの後、昼食を挟み午後の部がスタートしました。

午後の部は、テレビ等でおなじみの姜尚中（カンサンジュン）氏が「新しい年の東アジアをめぐる」と題して記念講演でのスタートでした。おなじみの姜氏の講演とあり、午後から出席される方も大勢いらっしゃり人気の高さを感じました。約1時間半の講演会でしたが、会場を見回してみると大半の方が目をつむり下をむいて熱心に（？）じっと姜氏の話に耳を傾けていらっしゃいました。



講演の中で、姜氏は、「東アジアのダイナミズムを日本が引き受けることが重要である」と話をされ、その中で九州の位置づけに関して話を

進めて行かれました。九州は日本で東アジアに距離的に一番近い場所にあり、日本の玄関口になる。九州は共同体となり、九州と東アジアの関係を保つ方向性を持たなければならない。ロシアと中国は成長のポテンシャルを持っている。アジア、またヨーロッパとの競争に打ち勝つため、携帯電話やソニーを例にあげられ国内市場のみを見るのではなく、グローバルに顧客ニーズをつかむ努力をしなければ日本は衰退する。世界と競争するには、多機能は知らない。シンプルであることが大切で、シンプルは低価格を実現する。とお話をされました。

また、東アジア諸国と対抗するために、九州がひとつになり、資源、交通を共有化することも必要であると述べられ、地図の上で、九州の真ん中にあり、緑もあり水資源が豊富な熊本が九州の中心（州都）のような役割を果たしていく必要がある、また熊本と大分を結ぶ道路網の整備を行えば、九州は今まで以上に1つになれる可能性を秘めているとのことでした。

講演終了後、いくつかの質問にこたえられましたが、学者らしく、質問に対し間髪いれず答えられていたのが印象的でした。午前中にR I 現況報告をされたR I 会長代理の「ロータリアンを増やすためにはどのようにしたら良いと思われませんか」との質問に対し、高校生を含む若年層の方向づけが必要となると答えられました。姜氏はローターアクト、インターアクトの存在はご存じなかったようですが若手の育成は、共通の認識であるとても共感できました。

その後、各種表彰が行われ、人吉ロータリークラブはロータリー財団「あなたも毎年100ドル



を」クラブで表彰され、宮原会長が盛大な拍手の中ご登壇されました。ここで疑問が生じまして、隣にいらっしゃった武末先生に「私は寄付をした覚えがないのですが」とお尋ねすると「100万ドルの食事」の話をしていただき、その中から毎年100ドルを寄付していること、10年ロータリアンでいると1000ドルの寄付となりポールハリスフェローになれる事を教えていただきました。また「このところは報告しておけばよか」とアドバイスまでいただきました。まさに今日の食事が100万\$の食事となりました。その他にもいろいろな表彰がおこなわれましたが、その中でも高齢会員出席で表彰をされた方々が印象に残っています。98歳を筆頭に生涯ロータリアン。ここまでロータリアンを続けるロータリーの魅力を感じました。

各クラブからの連絡では、5クラブ程が来年創立記念式典を開催されるそうです。人吉からは遠くクラブばかりでしたが、機会があればご参加ください。

早朝から行われた地区大会も、手と手つないでの後、本田光曠ガバナーの点鐘で幕を閉じました。

帰りのバスの中は、あたかも宴会場のような雰囲気でもロータリーの話他、いろいろな話で盛り上がり人吉まで帰ってきました。7時からの人吉ナイトも予定を早め6時半からの開始となり、かなり盛り上がったそうです。

私にとっては2回目の参加でしたが、本田ガバナーはじめ、R I 会長代理の話はどれも興味深く、私のような新米にとっては、有意義な1日となりました。

来年は大分で開催されます。今年参加できなかった方も来年は是非ご参加いただくことをお願い致します。

【ニコニコ箱委員会】

有馬宏昭委員長

・岩本泰典会員 先週の例会時に立山君からゴルフで私の弟子になったが如きニコニコがっていました。然し現在の弟子に手こずって居りまして、空席がありません。後、3年お待ち下さい。故に入門はお断り致します。ゴメンナサイ。

1,000

ニコニコ・ごめんねカード3/16 合計1,000

点 鐘 宮原和広会長